



2021年6月期 第2四半期 決算説明資料

新しい価値の創造により社会の持続的発展に貢献する

株式会社FCホールディングス

2021年2月19日

【JASDAQ:6542】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえて対面式のIR説明会は開催いたしません。



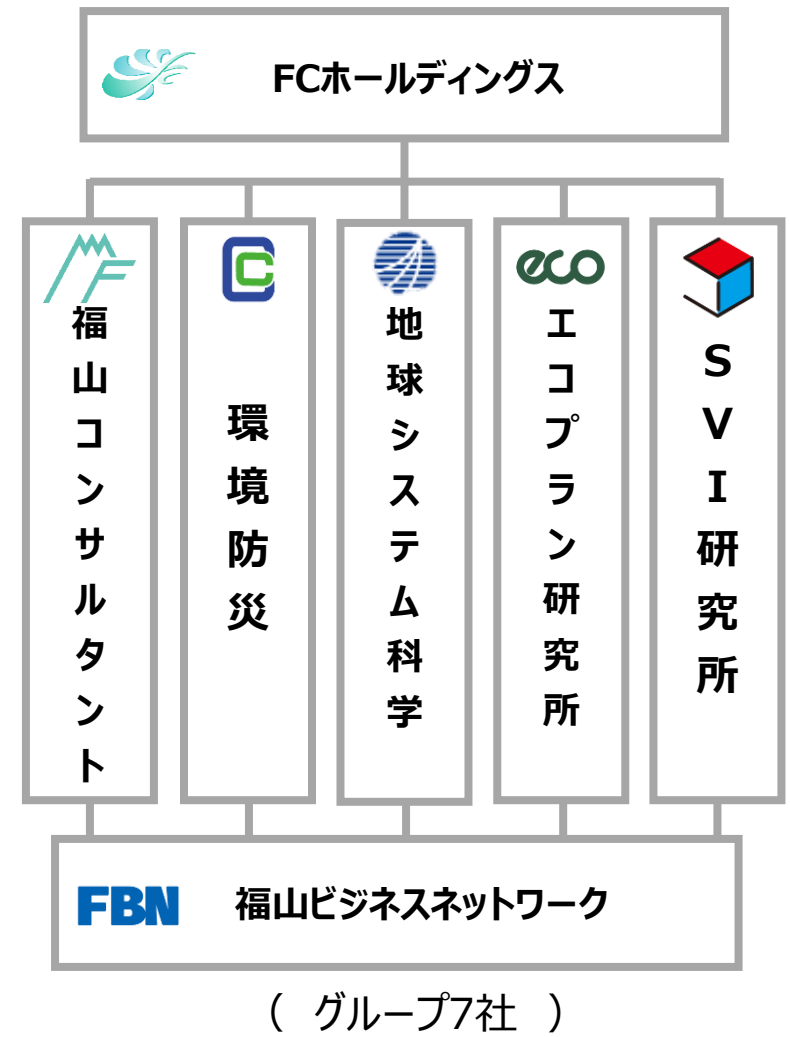
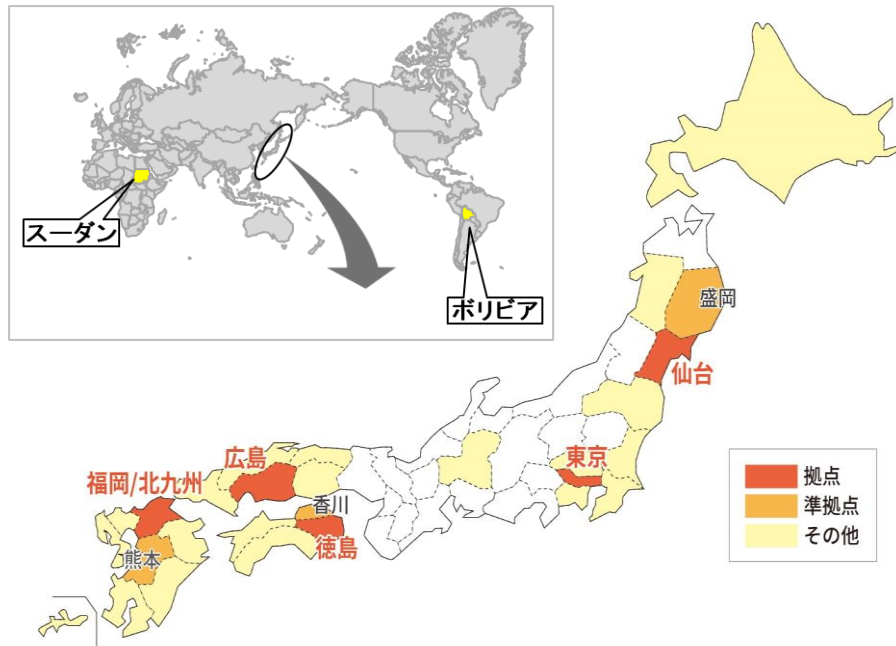
- 1. 第2四半期累計期間 決算概要**
- 2. 通期（2021年6月期）の計画**
- 3. 主要事業紹介**
- 4. トピックス**
- 5. 中期経営計画（～2022年6月期）**
- 6. 参考資料**



－ 企業集団の概要 －

商号	株式会社 FCホールディングス
上場	東証JASDAQ（証券コード：6542）
創業	1949年3月1日（創業72年）
売上高	7,412百万円（2020年6月期）
従業員数	391名（外、臨時雇用者数175名）
経営理念	新しい価値の創造により社会の持続的发展に貢献する

○国内主要8拠点、国内外31事業場で展開中





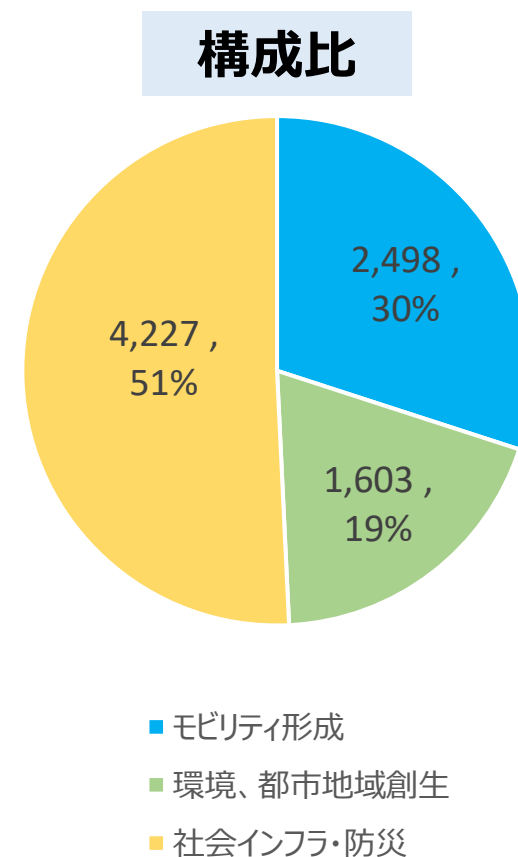
1. 第2四半期累計期間 決算概要（1）業績

	2020.6月期 第2四半期 (百万円)	2021.6月期 第2四半期 (百万円)	対前年同期比 (百万円) (%)	
受注高	7,247	8,329	+1,082	+14.9
生産高	4,122	4,762	+640	+15.5
売上高	1,353	1,675	+322	+23.8
営業損失（△）	△228	△362	△133	-
経常損失（△）	△227	△348	△121	-
特別損益（△）	-	△266	△266	-
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△176	△508	△331	-



1. 第2四半期累計期間 決算概要（2）分野別受注高

（事業分野名称）	2020.6月期 第2四半期 （百万円）	2021.6月期 第2四半期 （百万円）	対前年 同期比 （百万円）
モビリティ形成 （交通M）	2,436	2,498	+62
環境、都市・地域創生 （環境・地域M）	938	1,603	+665
社会インフラ・防災 （ストック・リスク・建設事業M）	3,872	4,227	+355
合 計	7,247	8,329	△305



※今期から事業区分を見直しています。（ ）内は旧事業区分



1. 第2四半期累計期間 決算概要（3）財務状況

		2020.6月期末 (百万円)	2021.6月期 第2四半期 (百万円)	対 前期末比 (百万円)	主な 増減理由
資産	流動資産	4,159	4,570	+411	・未成業務支出金増加
	固定資産	5,118	5,154	+36	
資産合計		9,278	9,724	+446	
負債	流動負債	2,109	3,223	+1,114	・短期借入金、未成業務受入金の増加 ・未払租税の減少
	固定負債	2,307	2,203	△104	
負債合計		4,417	5,427	+1,010	
純資産合計		4,860	4,296	△564	・配当支払い、四半期純損失
負債及び純資産合計		9,278	9,724	+446	



2. 通期（2021年6月期）の計画（1）損益計算書

✓ 「のれんの再評価」による減損損失計上により当期純利益のみ計画値を修正

	2020.6月期 実績 (百万円)	2021.6月期 計画 (百万円)	前期実績比 (百万円) (%)	
受注高	12,553	-	-	-
売上高	7,412	8,300	+888	+12.0
営業利益	861	880	+19	+2.2
経常利益	858	880	+22	+2.6
特別損益	-	△266	△266	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	517	300	△217	△42.0



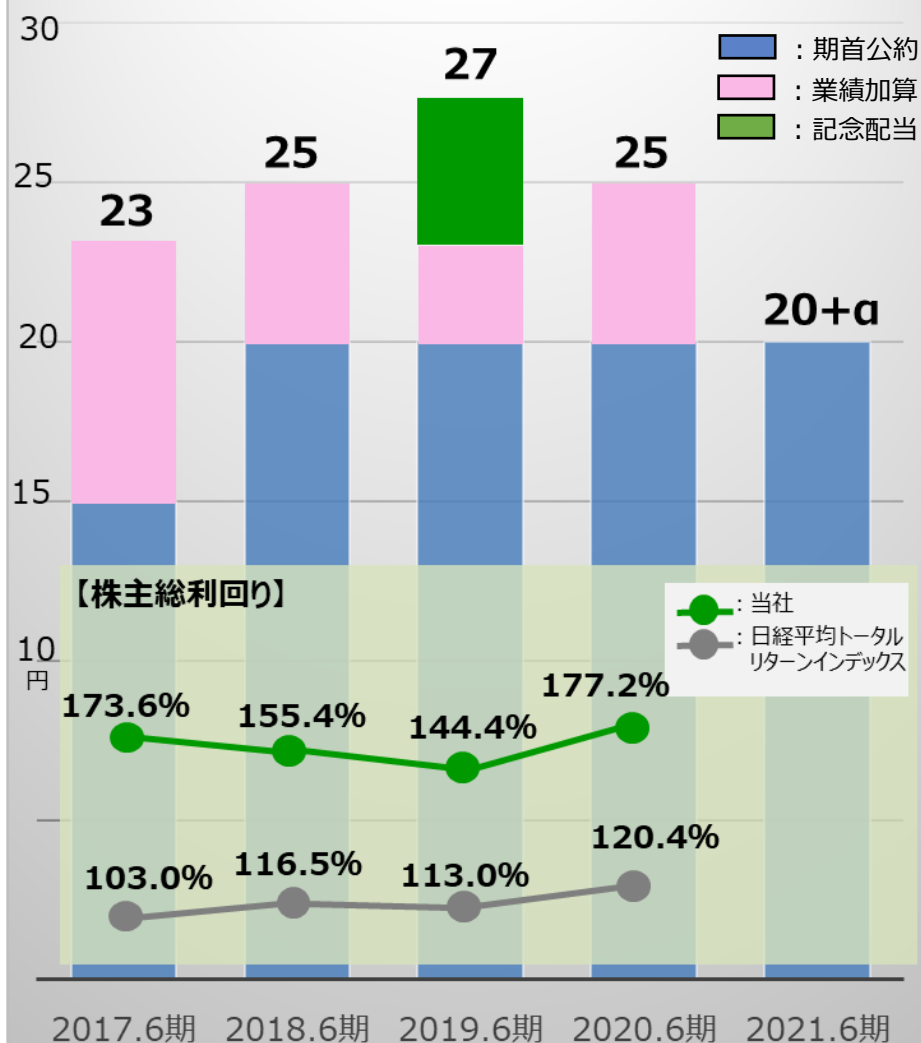
2. 通期（2021年6月期）の計画（2）株式関連施策

配当の基本方針（期首公約＋利益加算）

	2017.6期 実績	2018.6期 実績	2019.6期 実績	2020.6期 実績	2021.6期 計画
期首公約	15円	20円	20円	20円	20円
業績加算	8円	5円	2円	5円	－
記念配当	-	-	5円	－	－
合計	23円	25円	27円	25円	20円+α

* 2019.7.1、2020.7.1にそれぞれ1：1.1の株式分割を行っています
が本表はその影響額を考慮していません。

配当金・配当性向（株主総利回り）



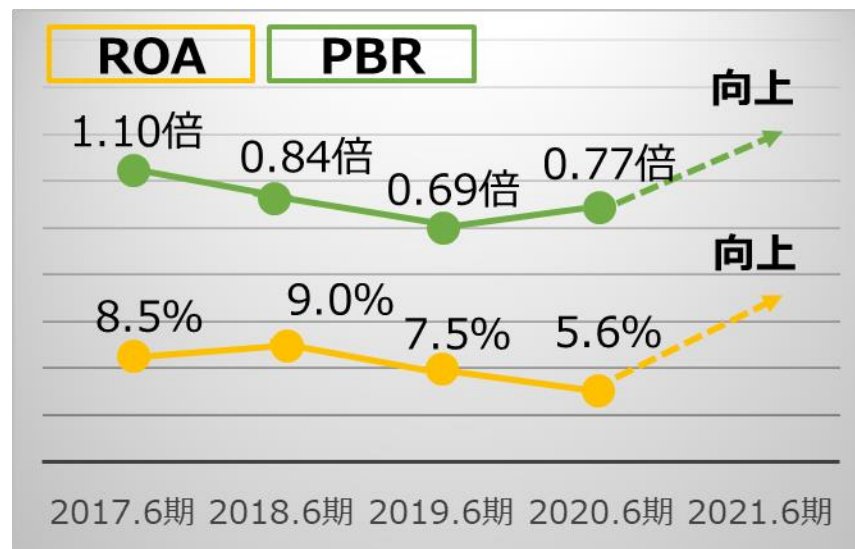
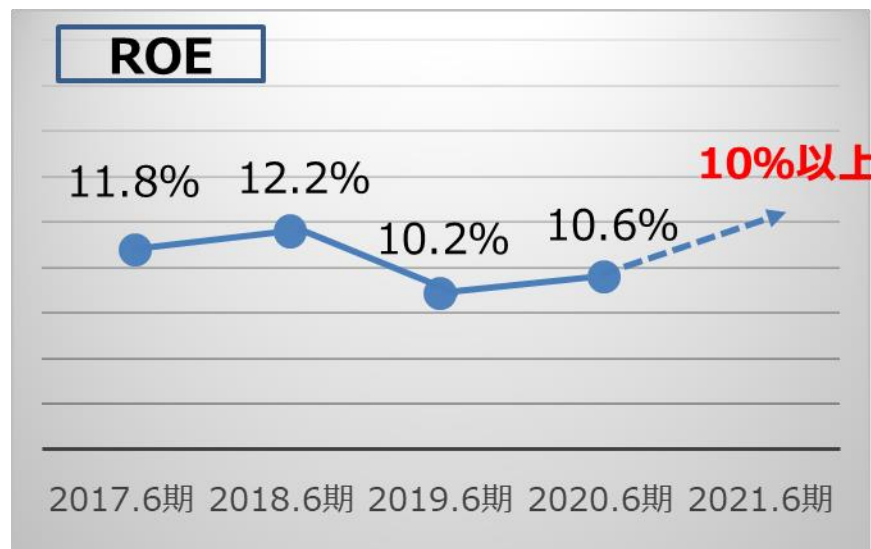
株式年間売買高・株主数（増加を目指します）





2. 通期（2021年6月期）の計画（3）その他財務指標

	2018.6期 実績	2019.6期 実績	2020.6期 実績	2021.6期 計画
ROE (%)	12.2	10.2	10.6	10%以上
ROA (%)	9.0	7.5	5.6	向上
PBR (倍) (※6/30時点株価を基に算出)	0.84	0.69	0.77	向上



3. 主要事業紹介 ー ① (今期から事業区分を見直しています)



モビリティ形成事業

【福山コンサルタント】

仙台都市圏北部の基幹交通軸の検討

仙台都市圏北部の公共交通軸強化に貢献

- 仙台市営地下鉄 泉中央駅と富谷市明石台地区を結ぶ新たな基幹交通軸の事業化可能性検討を受託
(地下鉄延伸orガイドウェイランジットの事業可能性)



基幹交通軸の
整備イメージ案



地下鉄
or



ガイドウェイ
ランジット

環境、都市・地域創生事業

【環境防災+エコプラン研究所】

グループ内連携による環境調査

大鳴門橋ライトアップ点灯日増に向けた影響調査

- 環境防災が展開する四国エリアで、エコプラン研究所の動植物調査のノウハウを生かした動物（鳥類）調査を受託（四国エリアでの自然環境調査への展開）

- ・瀬戸内海に道路橋では地域活性化策として積極的にライトアップを実施中
- ・周辺に生息する動物等、自然環境への影響調査が必要





インフラマネジメント事業 【福山コンサルタント】

【東日本大震災からの復興】

（復興道路）三陸沿岸道路が開通

青森県と岩手県の県境区間が20/12/12開通

- 事業推進PPPのJVの一員として参画している復興道路の整備が着々と進んでいます



【熊本地震からの復興】

国道57号北側復旧ルートが開通

熊本地震で被災した道路が復旧20/10/03開通

- 被災直後から道路設計を担当した国道57号北側復旧ルートが完成し、阿蘇地域に賑わいが戻りました

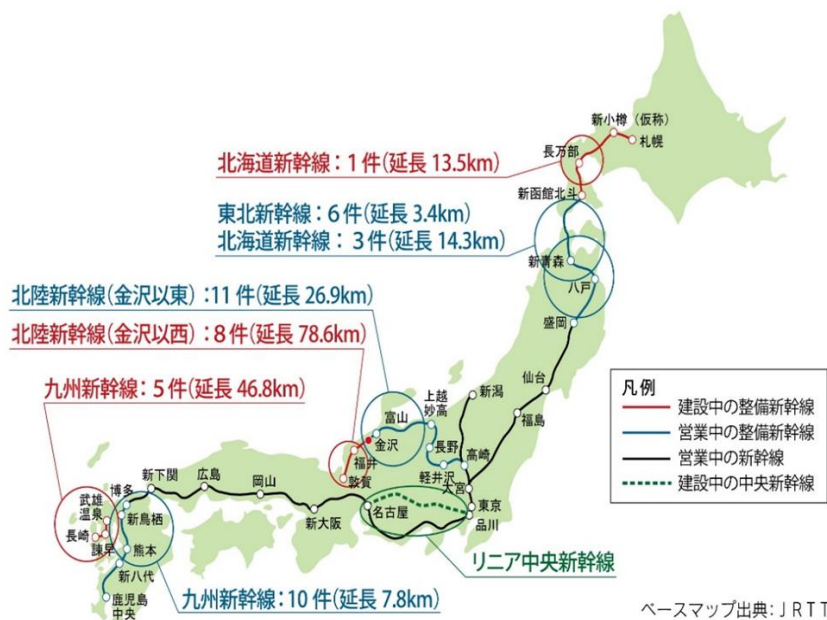


インフラマネジメント事業 【左：福山コンサルタント、右：環境防災】

整備新幹線設計

国内外の新幹線整備設計・施工管理対応中

- リニア中央新幹線業務を含む受注
- 海外（アジア）の高速鉄道計画にも参画中
- 九州新幹線（長崎ルート）も開業間近



四国エリアでのインフラ老朽化対策

国土強靱化に資する業務受注拡大

- 四国南予地域での新規顧客獲得
→ 宇和島市、愛南町からの受注
- 四国全域でのコンクリート試験・診断業務等の受注拡大



コンクリート構造物からのコア供試体採取

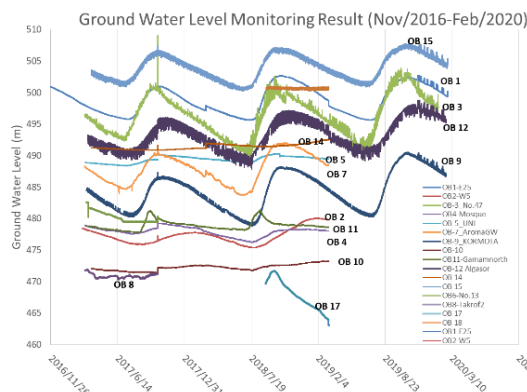


海外（国際協力）事業 【地球システム科学】

水資源 運営・維持管理能力の強化

スーダン国 州水公社への能力向上 協力

- 給水施設の能力向上、運転・維持管理手法の改善
- 水公社の経営能力の向上
- 水公社の顧客とのコミュニケーション支援 等



土砂災害リスク軽減のためのソフト施策

スリランカ国【非】構造物対策の強化 協力

- 災害ハザード・リスク評価能力が向上
- 災害の早期警報に関する能力が向上
- 土地利用規制における土砂災害リスク評価の活用



4. トピックスー ①

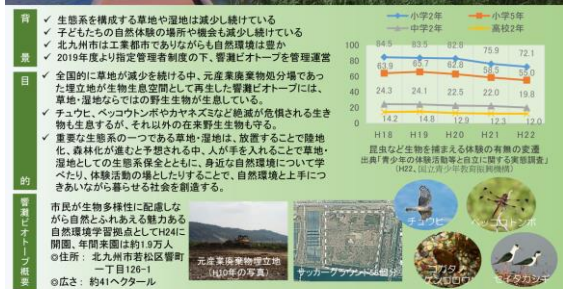


外部表彰（エコプラン研究所、福山コンサルタント）

グリーン・インフラネットワーク 全国大会

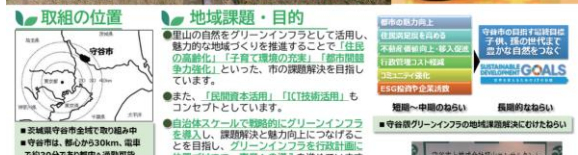
- 企業部門ポスター発表賞を受賞
- 響灘ビオトープでの生態系保存の取組み

北九州市



【守谷市】グリーンインフラ大賞 生活空間部門【優秀賞】受賞

- 官民連携によるGIプロジェクトの取組み
- 国土交通省からの表彰（R2年度開始）



応募者：茨城県守谷市、（株）福山コンサルタント

【岩手県】県土整備部長 表彰 優良建設関連業務表彰を受賞

- 国道106号 道路環境調査
- 令和元年度業務（R3.2.4表彰）

岩手県

表彰状

株式会社福山コンサルタント 様

貴社は令和元年度に完了した一般国道 106 号宮古西道路田鎖～根市地区道路環境調査（その4）業務委託の履行に当たり技術の研さんに努め優秀な成果をおさめられた功績は誠に顕著であり他の模範であります

よってここにその栄誉をたたえこれを表彰します

令和3年2月3日

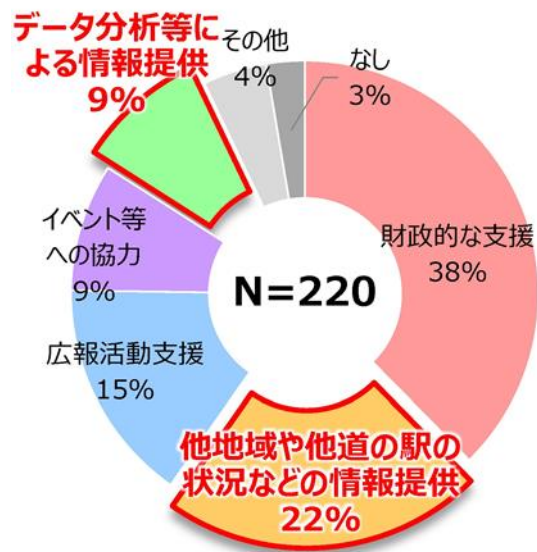
岩手県県土整備部長 中平 崇伸

社会活動（自主研究他）

ビックデータを活用した「道の駅」支援

アンケート調査でコロナ禍の問題点等を把握

- 自主研究としてアンケート調査実施
- 先進地情報、データ分析情報を求める声の大きさを把握
- 福山コンサルタントでビックデータを活用したサービス開始



「道の駅」に求められる支援

アンケート調査 2020年8月
東北地方163の「道の駅」を対象に実施

Maas導入検討へ参画

きやま（佐賀県）地方創生モビリティ研究会に参加

- コロナ禍における交通事業者支援、地方創生を目指す
- 九州各地でのMaas展開を支援する取組み
- 九州経済連合会の事務局一員として活動中



きやま地方創生モビリティ研究会の開催概要



～Co-creation22～（共創22）

『豊かさ』と『安心』に満ちた社会の共創

共創する技術サービス

- 人々が豊かに安心して住み続けられる社会の創造を支援する「技術」
- 強靱で、地球環境に優しい社会の創造を支援する「技術」

基本戦略

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1 次世代事業の創出
(事業の多様化) | 2 コアコンピタンスの追求
(比較優位事業の深化) |
| 3 多様な人財の雇用と継続教育
(顧客要求価値の多様化) | 4 ICT活用による生産性向上
(生産の効率化) |



商品・市場・顧客の拡大

商品

建設コンサルタント事業
⇒コンサルティング分野の拡張
(多分野化加速)

市場

国内市場展開
⇒国内市場＋海外市場
(海外展開加速)

顧客

官公庁中心
⇒官公庁＋民間
(顧客層の多層化加速)



5. 中期経営計画 (2) 数値目標

成長性・効率性・目標指標

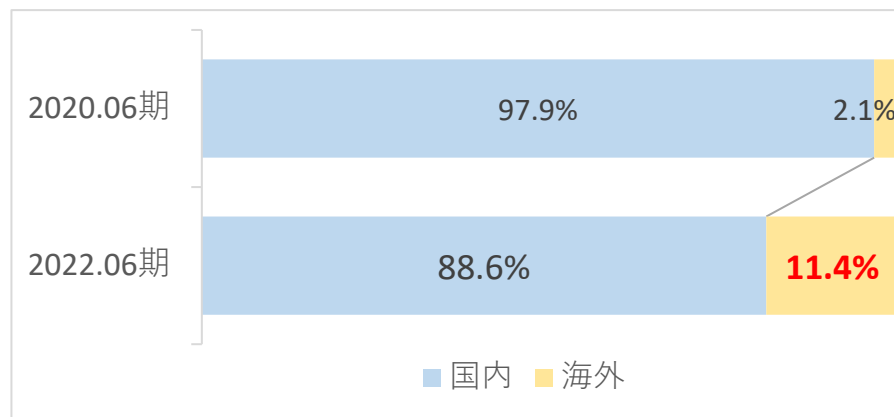
売上成長率	5%以上
営業利益率	10%以上
R O E	10%以上
研究開発費/売上高	5%以上
株主総利回り	中期的な向上

収益等目標指標

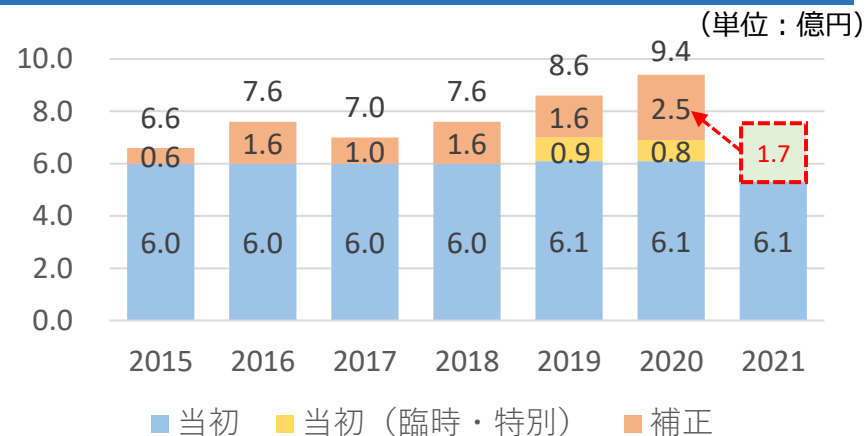
項 目	2020.6期 実績	2021.6期 計画	2022.6期 計画※
売上高 (百万円)	7,412	8,300	(8,500)
営業利益 (百万円)	861	880	(900)
当期純利益 (百万円)	517	300	(500)
社員 (人)	372	400	(380)

※ () 内は中期経営計画策定時であり、現在見直し改定中

市場別売上高構成比



市場環境 (公共事業予算)



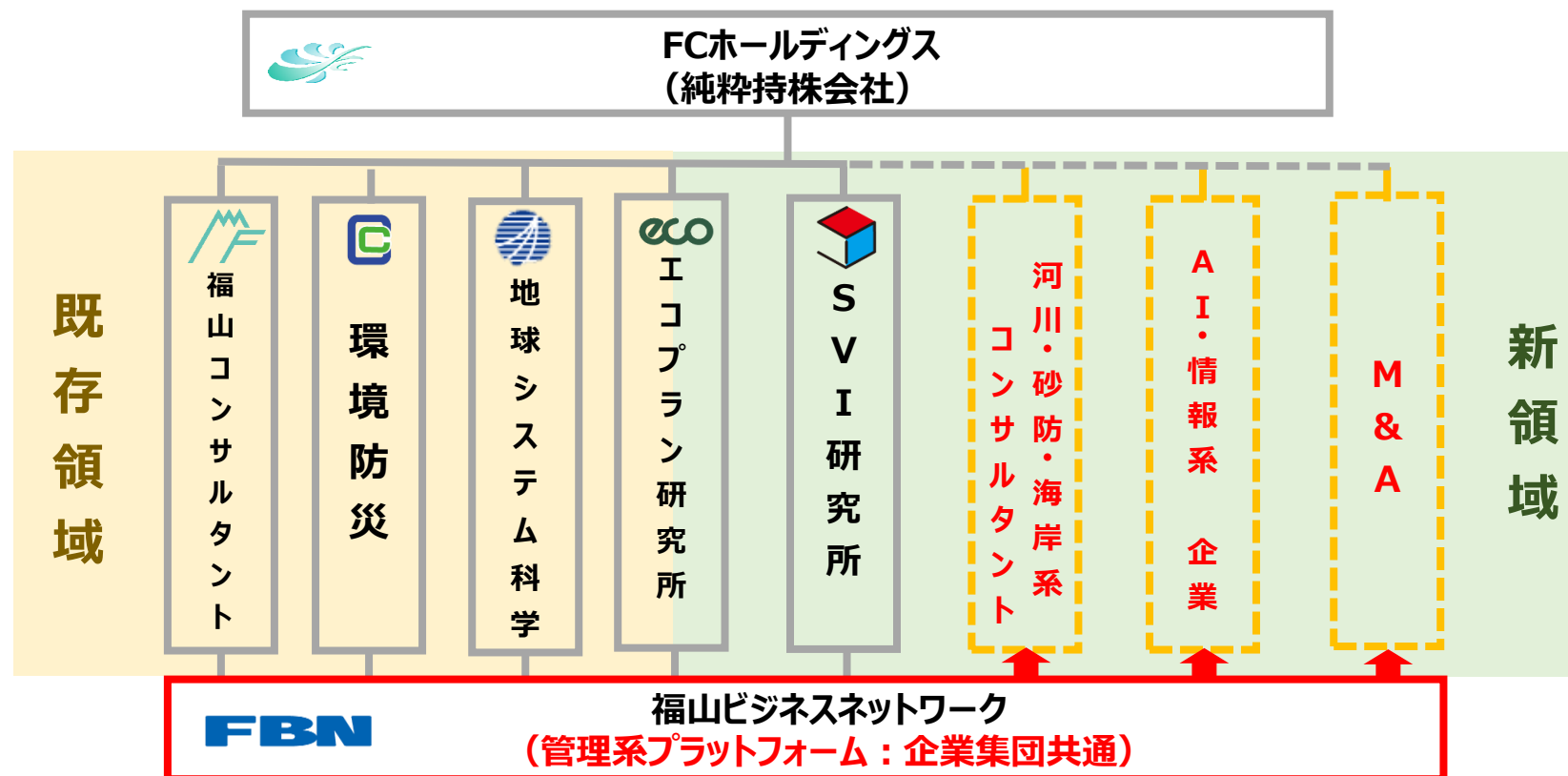
資料: 令和3年度政府予算案資料より作成



中期計画期間中（3年間）に約20億円の投資

重点投資対象

- ① 河川・砂防及び海岸系分野の拡大
- ② AIや他分野のノウハウ活用による新ビジネス、民間向けビジネスの展開
- ③ 海外展開のスピードアップ



6. 参考資料 ①成長戦略のイメージ



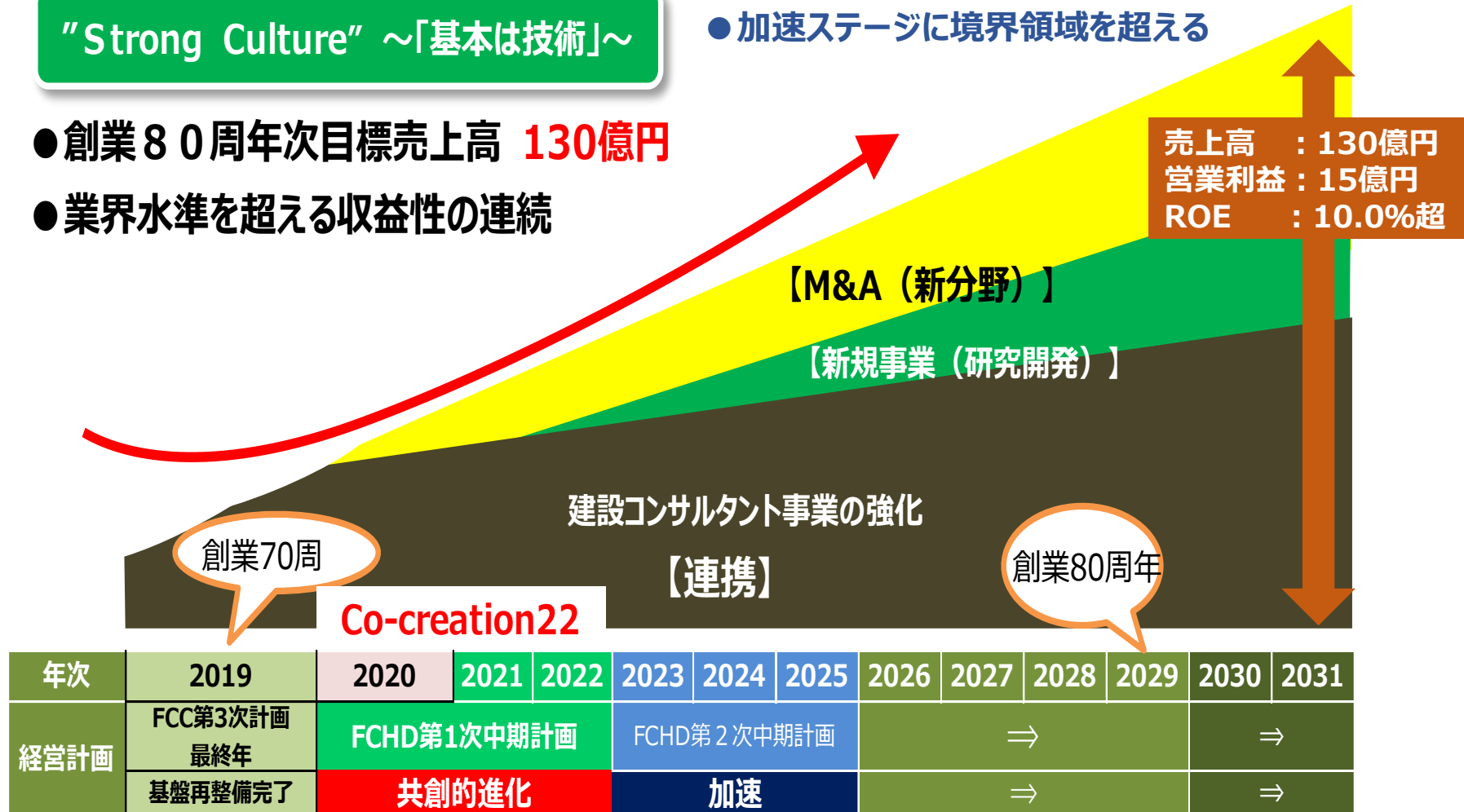
“Strong Culture” ～「基本は技術」～

● DXの推進

● 加速ステージに境界領域を超える

● 創業80周年次目標売上高 **130億円**

● 業界水準を超える収益性の連続



6. 参考資料 ②グループ中核事業会社の概要

【2020年12月31日時点】



(株)福山コンサルタント

- ◇本社 : 福岡県福岡市
- ◇創業 : 1949年3月1日
- ◇資本金 : 400百万円
- ◇従業員数 : 244名(他契約社員137名)
- ◇有資格者 : 工学博士12名、
技術士189名(延数) 他
- ◇事業所 : 5拠点(福岡・北九州・広島・東京・仙台)
その他25の支店・事務所
- ◇主力事業 : 建設コンサルタント業



(株)環境防災

- ◇本社 : 徳島県徳島市
- ◇設立 : 1964年8月1日
- ◇資本金 : 90百万円
- ◇業種 : 建設コンサルタント業
- ◇従業員数 : 47名(他契約社員29名)
- ◇有資格者 : 工学博士・技術士・環境計量士
コンクリート診断士他
- ◇事業所 : 四国4県
- ◇主力事業 : 建設コンサルタント業



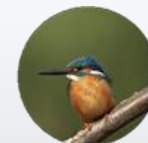
(株)地球システム科学

- ◇本社 : 東京都新宿区
- ◇設立 : 1991年5月15日
- ◇資本金 : 40百万円
- ◇業種 : 建設コンサルタント業
- ◇従業員数 : 29名(他契約社員9名)
- ◇有資格者 : 工学博士・技術士・環境計量士
地質調査技士 他
- ◇事業所 : 東京・ボリビア・スーダン
- ◇主力事業 : 建設コンサルタント業



(株)エコプラン研究所

- ◇本社 : 福岡県北九州市
- ◇設立 : 1992年2月1日
- ◇資本金 : 30百万円
- ◇業種 : 建設コンサルタント業
- ◇従業員数 : 10名(他契約社員6名)
- ◇有資格者 : ビオトープ管理士 他
- ◇事業所 : 福岡県北九州市
- ◇主力事業 : 建設コンサルタント業



※使用人数には兼任者を含みます

◆ 当プレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来 に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料 の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。

◆引き続きまして、格別のご支援・ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。



株式会社 FCホールディングス 経営企画室

E-mail : ir@fchd.jp

Tel : 092-412-8300 Fax : 092-412-8303